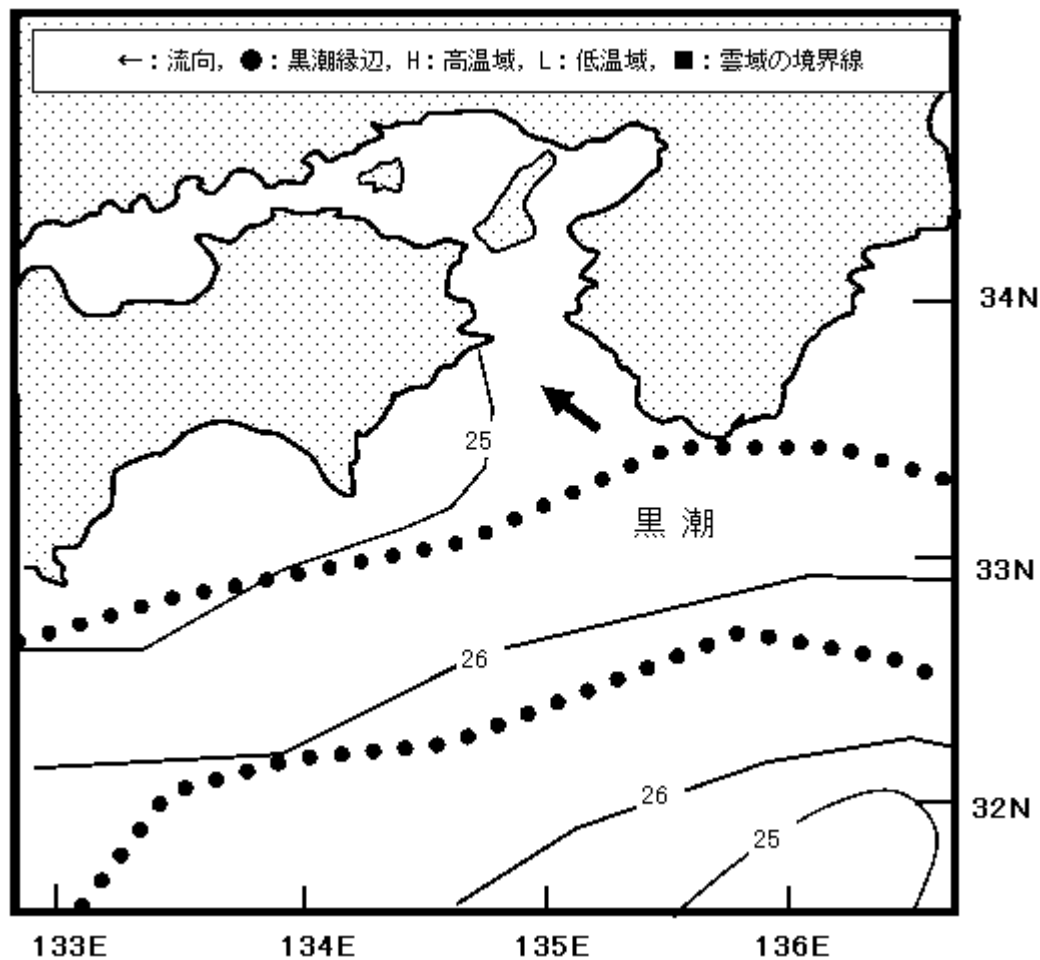


1. 海況の経過

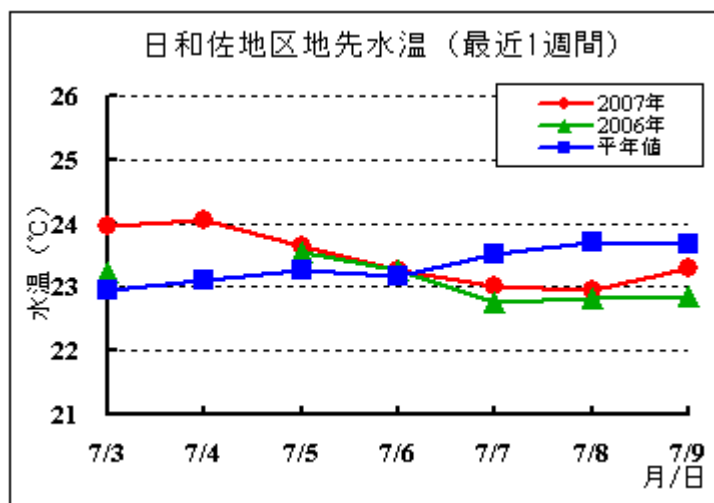
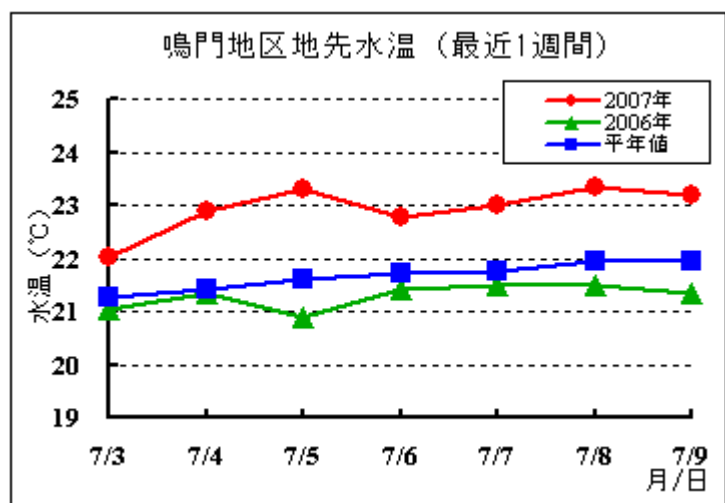
7/6 発行 海上保安庁海洋情報部海洋速報によると黒潮は、室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。現在、室戸岬と潮岬沖の黒潮は離接岸しながら流れている。



上に7月6日発行にされた海上保安庁海洋情報部海洋速報の海流図と表面水温図を示した。表面水温は播磨灘と紀伊水道内部が不明で、外域が24～25℃である。潮岬沖の黒潮が接岸しているため、和歌山県側から25℃台の暖水が紀伊水道外域に流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の22.0～23.3℃で、日和佐地区が「やや低め」～「やや高め」の23.0～24.0℃で、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の21.4～24.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、ウルメイワシが0.7トン(1日1隻あたり47kg)、小主体にマアジが0.6トン(同47kg)、マイワシが0.3トン(同116kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、マアジが3.1トン(同448kg)、大主体にイサキが0.8トン(同118kg)、大主体にとびうお類が0.7トン(同106kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にイサキが0.2トン(同10kg)、紀伊水道でタチウオが2.2トン(同18kg)水揚げされた。かつお漁は低調のまま終了した。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが132.0トン(同800kg)水揚げされ、好調であった先週よりもまとまって水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)7月2日～7月8日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網		ウルメイワシ	14	662	47	
		マアジ	13	612	47	小主体
		マイワシ	3	347	116	
大型定置網	海部沿岸	マアジ	7	3,133	448	
		イサキ	7	827	118	大主体
		とびうお類	7	739	106	大主体
釣り		イサキ	20	209	10	大主体
		紀伊水道	タチウオ	70	2,204	31
パッチ網		シラス	165	132,000	800	

週間予報:

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともにやや離岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の22～23℃、日和佐地先で「やや低め」の23～24℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが7.2トン(1日1隻あたり37kg)、イサキが3.2トン(同16kg)、パッチ網でシラスが1.4トン(同46kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが14.0トン、さば類が1.4トン、マイワシが2.1トン、ウルメイワシが10.7トン、オアカムロが16.2トン、イサキが2.2トン、シイラが1.9トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上